

イースターカードキャンペーン ～いまこの特別な時に～

「PROTECT ALL LIFE ～すべてのいのちを守るため～」

このテーマが掲げられた教皇フランシスコの来日から、早5ヶ月を迎えようとしています。これほどまでにこの言葉の意味を、世界中の人々が実生活の中で、リアルに向き合わざるを得ない事態が翌年に訪れようとは、誰も思い描けなかったことでしょう。教皇フランシスコは昨年11月、東京ドームでのミサで「すべてのいのちを守るため」と題した説教の中で、過去の一般謁見講話を引用し、現代社会に生きる私たちに対し、「**孤立し、閉ざされ、息ができずにいる「わたし」に抗しうるものは、分かち合い、祝い合い、交わる「わたしたち」、これしかありません**」と呼びかけられました。

人はひとりでは生きていけない。各地で主日や聖週間、そして復活祭の典礼で集まり、祝うことをも制限されてしまった私たちは、もはやキリスト教の原点である、復活の喜びを分かち合うことも不可能な世界に生きていると、錯覚してしまうかもしれません。しかし教皇は聖週間を迎えるにあたり、全世界にビデオメッセージを発信し、このような呼びかけをされています。

「わたしたちは隔離されていても、思いと精神は、愛の創造性をもって遠くまで及ぶことができます。今日必要とされること、それは愛の創造性です。」

他者とどのように手を取り合い、思いやりを持って生きていけるかが試されている、“いまこの特別な時に”、“フランシスコなう”ではアーティストの方々の協力を得て、各自が「愛の創造性」を持って、イースターカードを互いに送り合うことを呼びかけます。

クリスチャンが「復活」の出来事を祝うことは、キリストが私たちのために命を捧げ、死に、そしてその先に希望が現れたという、キリスト教の信仰の原点に立ち返ることを意味します。いまこの時こそ、私たちはそれぞれの苦しい状況の中でキリストに倣い、他者を思いやり、愛を伝える機会を持ちたいと思います。

- ・メールやメッセにイースターカードを添付し、大切な方にいまの想いを伝えてみてください。
- ・SNSにアップして、自分の中の愛を表現してみてください。
- ・コンビニで印刷できるようになっています。もしほんの少しの外出が許されるなら、裏面に想いをしたため、ポストに投函してみてください。

普段とは違う、“いまこの特別な時”だからこそ伝えられる想いを、誰かに伝えてみてください。

愛と思いやりの中で、皆さんがよきイースターを迎えられることを、心よりお祈りしております。